

体外衝撃波結石破砕術を受ける方の入院診療計画書





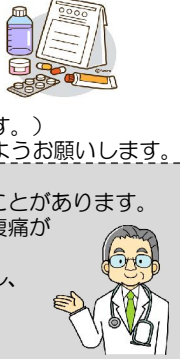

主治医 _____

入院日： ____ 月 ____ 日

____ 様 受持看護師 _____

病棟： ____ 棟 ____ 階

病棟責任者： _____

病状説明：腎臓・尿管結石を認め、疼痛や血尿の原因と考えられます。 体外衝撃波により破砕する治療を行います。 入院期間は2日間です。		退院基準：発熱がない。 血尿が軽度である。 疼痛がない。	
	外 来	入 院 当 日 (____ / ____)	翌 日 退 院 (____ / ____)
検査・治療・処置	<ul style="list-style-type: none"> ●血液検査をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●リストバンドをつけます。 ●治療前に左手に点滴の管を入れ、点滴を行いません。 ●体温・脈拍・血圧を病棟に帰ってからと夕方に測ります。この時に、衝撃波があつた皮膚の状態や痛み等も一緒に確認させていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体温・脈拍・血圧を朝に測ります。 ●血液検査があります。(朝6時から7時の間) ●8時50分頃にレントゲン撮影の呼び出しがあります。(外来棟のレントゲン室で撮影します。) ●医師より検査結果について説明があります。
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ●普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい。 ●脳梗塞や心臓の病気、血液の病気などで、血液が固まりにくくなる薬などを飲んでいる方は、処置ができませんので、必ずお知らせ下さい。 ●外来で処方されたお薬をお飲み下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●破砕術の前に痛み止めの坐薬をいれます。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>【治療中】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 結石破砕術用のベッドで、あお向け、またはうつぶせの状態でおこなわれます。 2. 血圧や脈を何度も測定したり、心電図シールを貼ります。 3. 強い痛みを感じるようでしたら痛み止めの追加ができます。また気分がわるくなったり、吐き気などの時も、遠慮せずにお知らせください。 4. 結石確認のために、レントゲンを治療前後に何回か撮影します。 </div>	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>【カルクキャッチの使用法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 尿カップに排尿をします。 2. カルクキャッチに尿を流し、こします。 3. 網に何も残らなければ、水ですすぎます。網に石が残れば、看護師にお知らせ下さい。 </div> <p>※退院後排石した石は、次回受診の時にご持参下さい。</p>
安静度、リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ●普段通りの生活ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●特に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟内自由です。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ●入浴できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●シャワーはできます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●入浴できます。
食事・栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ●食事制限ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●入院されてから治療が終わるまで飲んだり食べたりできません。 ●特別な栄養管理 (<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無) 	<ul style="list-style-type: none"> ●食事制限ありません。
説明・指導・教育	<ul style="list-style-type: none"> ●破砕術は、衝撃波により結石を破砕し、自然排石を促す治療です。 ●破砕術は泌尿器外来で行います。 ●破砕術の翌日、発熱・強い血尿など異常がなければ、退院可能です。 ●外来棟地下のヘルスケアショップで尿をこして結石をとるためのカルクキャッチ(1000円)を購入して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟の案内をします。 ●薬剤師の訪問があります。 ●治療前後の経過について説明します。 ●出棟時検査着に着替えます。 ●処置前、排尿してから行きます。(主治医の指示で排尿せず処置へ行く場合もあります。) ●破砕術後初めての排尿は看護師に見せていただくようお願いいたします。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>【衝撃波があたると】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚が赤くなり、人によってが皮膚がめくれることがあります。 ・破砕された結石が尿管内を降りるときに腰痛や腹痛が起きることがあります。 ・衝撃波による刺激や結石そのものが感染を起こし、発熱することがあります。 ・尿に血が混じることがあります。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ●水分をしっかりと摂るようにしましょう。 ●ほとんどの場合で血尿がでますが、数日で軽快します。 ●退院時療養計画書をお渡しします。 

上記内容について説明を受けました。 お名前： _____

(署名) 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 / 説明した看護師： _____

京都桂病院 泌尿器科 2015.7.14 Ver.10-2